

災害派遣職員レポート

No.48 H23.8.16

陸前高田竹駒地区で活動している 中心子どもの家 下鳥職員の報告

お疲れ様です。お盆ということで、仮設にも東京や、静岡などからご親族がたくさん来訪されています。仮設の中には知的に発達が遅れている子がいて、お母さんもなかなか出てこれないのですが、声をかけてその子の面倒を見てあげている間に掃除等の家事をやってもらいました。私の仕事だったか疑問ではありましたが、仮設の方々が喜んでくれればと、色々なニーズにこたえてあげられればと思います。と言いながらもう滞在の半分以上過ぎてしまいました。まだまだ修行が足りないなと思う今日この頃です。

曾我所長より

陸前高田で活動している下鳥さんからの報告です。自ら何ができるかを見つけて頑張っているようです。

陸前高田竹駒地区で活動している えびな北高齢者施設 平野職員の報告

おはようございます。こちらは仮設の皆さんが暖かく迎えてくださるのでとても楽しく過ごしています。仮設のほうは生活も落ち着いています。

皆さんの話をきくと、もちろん物資はありがたいけど、これからは心のケアが必要なのが伝わってきます。また、様々なイベントがあるとうれしいけど、静かに生活をしたいという方もいるようです。

様々な葛藤を持ちながら生活をされていることが伝わってきます。私たちは、必要とされていることを手伝えること、また、個別訪問を中心として活動を続けていきたいと思えます

T=ACT さんとの話し合いには川井先生が参加され、虐待等の問題はないようだとのことでほっとしました。今後もそのような目を持ちながら、川井先生と相談しながら行っていきます。

現在色々な団体が仮設内に入っており、情報の一本化が難しい状態です。それは社協も課題としているようです。

訪問係りの皆さんへ、お疲れ様です。こちらは1日1日があっという間に過ぎてしまい、楽しく過ごさせていただいております。ただホテルが遠いのが難点ですが・・・。

そちらはいかがでしょう？順調にスケジュールは進んでいますか？ヘルパーさんたちはけがや体調崩していませんか？体調管理はしっかり行ってくださいね。

菅原所長より

被災地の方々の生活がいろいろと変化してきている様子です。一見落ち着いて見える状況に危うさがあるということに、被災地で活動している団体それぞれが気付きかかわっている段階なのでしょう。

被災地では衣類が不足していると、前派遣チームの安齊職員から報告がありました。具体的に何が必要なかを現地に居る職員に確認してもらって、中心会から必要とされている衣類を送ることができないかと検討して行こうと考えています。その時は、職員の皆さん、ご協力をお願いいたします。